

第（ 1 ）年 年間 社会科の授業

社会科の目標・特性		<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会の主権者となるための基礎的な教養を身につけさせる。 ○ 社会で起こった出来事の因果関係等を考え、社会的事象に関する興味・関心を高め、自分の意見をもつ力を向上させる。
評価の観点	関心・意欲・態度	○ 社会的事象に対する興味関心を持ち、積極的に学習に取り組むことができる。
	社会的な思考・判断	○ 社会的事象を因果関係等から考察することができる。
	資料活用の技能・表現	○ 社会的事象に関する資料を的確に読み取り、より効果的に表現できる。
	社会的な事象についての知識・理解	○ 社会的事象についての基本的用語・事がらを理解することができる。
授業内容単元構成	題材名（実施月）	到達目標
	1 わたしたちが住む地球（4月）	<ul style="list-style-type: none"> ○地球を構成する主な大陸と大洋がわかる。 ○地球儀と地図の違いがわかり、それぞれの地図の特徴がわかる。
	2 世界の地域の分け方（4月）	<ul style="list-style-type: none"> ○主な国を各地域に分類できる。 ○特徴ある（面積、人口、自然など）国が、どの地域に属しているかわかる。
	3 日本の地形・気候の特色（5・6月）	○世界と比較する中で、日本の地形や気候の特徴がわかる。
	4 日本の諸地域・都道府県（7・9月）	<ul style="list-style-type: none"> ○いわゆる「日本」の範囲がわかる。 ○都道府県名と県庁所在地名を覚えることができる。 ○日本の様々な地域の特徴を理解できる。
	5 身近な地域を調べる（9・10月）	○地形図を読みとることができる。
	6 世界の諸地域（10月・11月）	○世界の様々な地域の特徴を理解できる。
	7 原始から古代へ（原始時代～平安時代） 〈12・1・2月〉	<ul style="list-style-type: none"> ○「人」が進化してきた過程と、「人」の特徴を理解する ○各文明の特徴を、具体的なものを挙げて示す事ができる。 ○日本の律令制の完成と中国との関わりが理解できる。 ○律令国家の成立に向けて活躍した人物や、その事業を順を追って整理できる。
	8 中世の日本（鎌倉時代～戦国時代） 〈2・3月〉	<ul style="list-style-type: none"> ○律令政治に代わって、政治の権力を握った勢力とその政治の特徴を理解できる。 ○生活の向上と自治の広がり、生活の不安定さと宗教の広まりの関係がわかる。 ○織田信長と豊臣秀吉の政治の特徴と民衆への影響がわかる。
学習に使用する教科書・副教材・道具・ファイルなど	〈地理的分野〉・・・教科書（地理）、ノート、地理資料集、地図帳 〈歴史的分野〉・・・教科書（歴史）、ノート、その他（後日連絡）	

学習の前に

- 自分たちの住む足元の地域をみつめよう
- 世界に視野を広げ考えよう
- 体験的に学ぶことと基礎的な知識を大切にしよう

授業中

- 本日の学習のねらいの確認する
 - 資料等を使い説明を聞く・思考する
 - 板書をしたことをまとめてノートに書き写す
- ※授業ノートを定期的に関一回、回収して検印をします。授業中にしっかり整理しよう。

学習後

- **復習をする**
ノートを見直して、自分がしっかり理解できていない箇所や重要用語を覚え直す。
ビジュアル地理の問題を進める
基礎用語テストで満点をめざす

評価の仕方

- **評価の対象とするもの**
 - ・社会的事象への関心・意欲・態度
ノート提出、ビジュアル地理提出、基礎用語テスト
 - ・社会的な思考・判断
中間テスト・期末テスト、思考テスト
 - ・資料活用技能・表現
中間テスト・期末テスト、資料活用テスト
 - ・社会的事象への知識・理解
中間テスト・期末テスト

先生からのメッセージ

- ・川口校区にある地域の歴史・地理をともに学びましょう。